

1/30(土) まい心! 倫理号です。11月もいよいよ最後、この号が来ました...けど  
充実した月でもありました。あーがっへ。

残り所 1ヶ月、日常の小さな行動に心を添えて有終の美を飾り  
たいぞう。 幸七郎 平一 鳥

2019. 11. 30~12. 6

今週の

倫理

11月のテーマ | 日常の小さな実践

1162号

世の中には、挨拶や返事、後始末など社会人と  
して(できて当たり前)と思われていることがた  
くさんあります。しかし、当たり前と思われてい  
ることが、本当にできているでしょうか。

実は、自分はできていると思っただけで、  
実際にはできていないことも多々あるのではない  
でしょうか。二つの事例をご紹介します。

▽

ある日、S社長が何も言わずに横を通り過ぎた  
社員に対して、「挨拶ぐらい、ちゃんとしなさい」  
と注意しました。すると、社員から「社長も私に  
挨拶してないじゃないですか」と思わぬ言葉が返  
ってきたのです。その言葉に一瞬腹が立ったS社  
長でしたが、「確かにそうだな。今、私は彼に対し  
て挨拶をしなかった。まずは私から挨拶をするべ  
きだった」と反省しました。

「改めて、おはようございます。大切なことを教  
えてくれて、どうもありがとうございます」とS社長は挨拶  
をすると同時に、感謝の言葉を付け加えたのです。  
すると社員から「偉そうなことを言っただけ、  
たいへん申し訳ありませんでした。これからは、  
ちゃんと私から挨拶をするようにいたします」と、  
「挨拶はどちらが先」という話題を通じて、互い  
に反省と改善の思いを共有したのです。

後日、同じ社員から「最近、S社長、明るい  
ですね。社長から挨拶されると、なんだか元気が  
もらえるんですよ」と言われました。

その言葉を聞き、(挨拶を意識して行ない、そ  
の挨拶に心が伴っているからこそ、相手の捉え方  
が変わったのだな)と思っただけです。

社員とのやり取りを終えた後、S社長は(こう  
あるべきだ。これは誰でもやるべきだ)などと自



## 日常の小さな 行動に心を添える

分のモノサシで考えていることを、当の本人はど  
れだけ行動に移せていたのだろうかと考えて、改め  
て自身の日常生活を見直すようになったのでした。  
日常の小さな実践やちよつとした行動に意識  
を向けながら、心を添えて取り組むことで、人は  
大きく変わることが出来ます。そして、自分の言  
動を見直してみることで、「できていなかった」と  
いう反省点にも気づくことができるのです。

▽

Tさんの家庭では、妻が家事全般を切り盛りし  
てくれます。Tさんは子供に「自分のできること  
は、自分でやりなさい」と常日頃、伝えていま  
すが、いざ自分を顧みると、食後に食器を片付ける  
ことさえ行なっていません。

(これではダメだな)と思い、子供に言うだけ  
でなく、自分ができることは自分でやろうと決意  
しました。色々と実行に移していくと、妻から「あ  
なた、最近どうしたの」と驚かれました。「これか  
らは、自分でできることは自分でやることにした。  
今まで、色々ありがとう」と素直に感謝の思い  
を伝えました。すると、妻から「こちらこそ、い  
つもありがとう。お仕事、ご苦労様です」と言わ  
れ、その言葉に恥ずかしくなったといえます。

Tさんは職場でも、挨拶、返事、後始末などを  
意識的に取り組むようになりました。その際、当  
たり前と思われがちなこと目に向けて、その行  
動に心を添えるようになったといえます。

二人に共通することは、今までできていたと思  
っていたことでも、意識的に振り返ると、たりな  
い自分に気づけるようになったことです。挨拶、  
返事などの小さなことも、心を添えることで、そ  
の行動に深みが増すのです。